

はがの文芸

サークルなどで活躍されている皆さんの作品をご紹介します。

短歌

土地整備されて螢も姿消す
川狩りあそび遠き日恋し

荷見 泰一(芳志戸)

秋さめの止みしあしたの静けさを
破りて鳴きぬ明けの力ラスは

丸山 芳江(祖母井)

花鉄使はれしまま置かれたり
怒れる蛇の口の角度で

藤澤 久夫(稲毛田)

明日から首輪はずして寛げと
亡き犬「空」の眼忘れず

柳 慶子(与能)

俳句

近道があだとなりたる草虱くさしらみ

小林 馨(東高橋)

熊よけの鈴を鳴らして茸狩り

埴 テル(祖母井)

農良着替へ敬老の日のお祝ひに

小林 元子(東高橋)

青空を山に引き寄せ紅葉狩

福武 幸子(下延生)

川柳

握手する闘志を秘めた手が熱い

七井 章治(与能)

迷い無いあなたの動き洗濯機

山本 美枝子(稲毛田)

梨ブドウ米芽実る秋が好き

小林 正孝(祖母井)

好敵手共に夢へと競い合い

長谷川 攻(稲毛田)

芳賀町人発見!



OSK日本歌劇団
直井 満里歌さん (25歳・与能)

来年で創立95周年を迎えるOSK日本歌劇団。その中で直井さんは、芸名「雅晴日」として活躍されています。

6歳の頃からクラシックバレエを習い、そこで大きな舞台に立つことの喜びを知り、自然と少女歌劇をやるのが夢になっていったそうです。

高校卒業後は一般事務の仕事で4年間経験。しかし、夢を諦めきれずOSK研修所入学試験を受け、見事合格。2年間研修所で勉強やレッスンを励み、今年4月夢であったOSK日本歌劇団に入団しました。

今年9月には、入団半年という異例のスピードで男役としてデビュー。男

役ならではの苦労もたくさんあるが、舞台上に立てることが嬉しい、芳賀町の皆さんにもぜひ見ていただきたい、とすてきな笑顔で話してくれました。直井さんのますますのご活躍を応援、期待したいと思います。



▲左から2番目が直井さん



直井さんの次回出演公演
「OSKレビューカフェ」
公演期間/11月3日(木)～13日(日)
場所/ローズガーデン(大阪府大阪市)

野菜ソムリエNAOMIの野菜を食べよう☆

サトイモ

(サトイモ科サトイモ属)

「サトイモ」は、山地に自生していた「ヤマイモ」に対し、里で栽培されていたことに由来して名づけられました。親芋に寄り添うように子芋・孫芋とたくさんの芋ができることから、子孫繁栄の縁起物として正月料理に欠かせない食材です。

●サトイモの田楽

材料

- ・サトイモ..... 適量
- ・砂糖..... 50g
- ・みそ..... 50g
- ・みりん..... 50cc
- ・黒ごま・白ごま・ユズ..... 適量

作り方

- ① サトイモ(皮はつけたままでよい)を水洗いし少量の塩をふり、形が崩れないよう串がすっと刺さるくらいまで、水からゆでる。
- ② 鍋に砂糖、みそ、みりんを入れ火にかけ、砂糖にとろみがでるまで混ぜる。
- ③ ①のサトイモの皮をむき、②のタレをからませればできあがり。

※盛りつけにごまやユズを使うと風味が増します。

サトイモの特長

サトイモは他の芋類に比べ低カロリー。ビタミンAも多く、タンパク質やビタミンB群やビタミンCを含み栄養価が高いのが特長です。ぬめりに含まれる「ムチン」には消化促進、「ガラクトン」には免疫向上作用効果があります。

わが家のオンリーワン

あなたのかわいいペットを紹介します。

ももちゃん(ブルドッグ、2歳、メス)

川口 葉子さん(ハツ木)

ももちゃんは、ご主人さまと同じ誕生日が縁で川口家にやってきました。穏やかな性格で、犬も人も大好き♪たくさん芸ができるお利口さんです!

●応募方法 情報広報係へご連絡ください。
●必要事項 動物:名前・動物の種類名(例…柴犬、三毛猫)・性別、飼い主:氏名(フルネーム)・住所(大字のみ掲載します)・電話番号(掲載はしません。掲載事項に関して確認が必要な場合、係からご連絡します)

企画課情報広報係 ☎028(677)6099

あなたの声を聞かせてね! お便り待ってます!

●身近な出来事や町に関する要望・意見

高松イクさんからの投稿

「笑う門には福来たる」
9月24日(土)町民会館において町敬老祭があり、おぼんこぼん&玉川カルテットのバラエティショーが行われました。一生涯の人生を日常生活の中で笑いは健康の秘訣、脳が元気になる、免疫力が高まるなど…。大いに笑ってストレスなど吹き飛ばし充実した人生を送りたいものです。雑事を忘れて1時間40分を笑いのひとときに酔い、楽しい時間でした。

水沼秀夫さんからの投稿

今年から、8月11日が山の日制定祝日になり、記念に霧が峰ハイキングを行いました。多数の芳賀町民の参加(45人中33人)を得られ、車山湿原、蝶々深山を登り、物見石、八島が原湿原を歩き、最後に「あざみの歌」の歌碑の前で全員合唱して楽しい1日を過ごしました。残り少ない山の花も見られ、大自然の中、健康増進と自然を満喫すること、歩くことは、体にも心にも良いことですね。



右上/單月さん(稲毛田)
左上/高松イクさん(下高根沢)
左下/鈴木モコさん(西高橋)